

外山豊橋ハート
センター総長

県病院事業庁長に抜擢

「実験的経営」で実績築く

心疾患専門病院として、産院長、同市内大山町)地域医療に貢献する豊橋の外山淳治総長(60)「循ハートセンター」(鈴木孝 頭等内科学)は、四月一

日から愛知県が新設する病院事業庁の管理庁(庁長)に就任する。



東三河への熱き思い、新しい職場の

抱負を語る外山氏「豊橋ハートセンター」で

同事業庁は、がんセンターなり県立五病院の慢性的赤字打開に向け、県が本格的な経営改善に乗り出すための新設した。外山氏はそのトップに立ち、職員千七百余人を配下に人事、財政、労務など全般を統括する。

これまでの運営見直しを図り、独創的手法で健全経営を目指す。前職の県立尾張病院院長時代、ざん新な理念や実践による「実験的病院経営」と、積極的な情報開示で驚異的な実績を築きあげた功績により、初代庁長に抜擢(はってき)された。任期は四年間。

外山氏は豊明市出身、名大大学院医学研究科博士課程を修了。一九八五年、名古屋境医学研究所教授、九二年同所長。九八年から昨年三月まで県立尾張病院長を、四月から同ハートセンター総長に招かれ、臨床にも手腕を振るっていた。「日本一の実績で知ら

れるハートセンターに縁をいたたき、東三河の温かい人情に魅れ、多くの患者さんとも出会いが得られたのに改しい気持ち。この病院のすべての職員、特に清掃やメンテナンスタを裏方に徹する人、また出会のあった患者さん、地域住民の方々に「ありがとう」を伝えたい」と外山氏。

また新しい職場への抱負は「民間病院や総合病院とは一味違う、県立病院ならではの使命を自覚し、役職や職種、性別の差別をなくし、皆が生き生きと働ける環境づくりに最善を尽くしたい」と語った。新施設では、優れた才覚と手腕を發揮し、愛知県のため県民のための病院建て直しを期待されている。なお同センターでは、任期満了とたより次第、再び総長に迎えたいと話している。(星野のりこ)